

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-153	高等学校	外国語	コミュニケーション英語 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	コI328	All Aboard! English Communication I		

## 1. 編修の趣旨及び留意点

国際社会を生き抜く日本人を育成するために、以下のことに留意しています。

- ① 中学校で学んだ英語に十分習熟していない生徒を主な対象としているので、基礎・基本からの導入にあたって格別な配慮をすること
- ② 学習意欲を喚起し、「読みたい」「考えたい」と思う題材を取り上げること
- ③ 「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能を統合的に活用できるコミュニケーション能力の養成をバランスよく行うこと
- ④ 文法・読解に偏せず、日常的・実践的なコミュニケーションの指導ができるように、無理のない手順や配列を工夫すること

## 2. 編修の基本方針

基本方針

1

### 学習負担の少ない構成

- ・ 英語学習の基礎・基本の導入と学習への動機づけを図るWarm-Up 1～3とPre-Lesson 1～2を、本課Lessonの前に配置しています。Pre-Lessonでは最初につまづきやすいbe動詞と一般動詞について復習をしながら定着を図ります。
- ・ 各Lessonで学習する文法事項を1つにしぼっています。その1つを様々な形式で繰り返し学習できるようにしています。
- ・ ほとんどのLesson本文が見開きで完結します。学習の流れが一目で理解でき、前時の復習がしやすくなります。

基本方針

2

### 指導の流れが見えやすいLesson構成

- ・ 先生と生徒が学習目標を共有化するために、Lessonのテーマやコミュニケーション活動にリンクした学習目標を扉ページに提示しています。
- ・ Lessonの本文以降のページを、「内容理解」「文法事項」「コミュニケーション活動」の3つに整理することで、先生方の多様な指導スタイルに対応できる構成にしています。

基本方針

3

### 学習意欲を喚起する題材

- ・ 「読みたい」「考えたい」と思うような題材を用意しています。
- ・ 各Lessonの仕上げに「Let's Try」を配置し、本文のテーマについてのコミュニケーション活動ができるようにしており、4技能の統合を図ることができます。

### 3. 対照表

図書 の 構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所の例
Lesson / Reading	<ul style="list-style-type: none"> <li>①各 Lesson で取り上げた題材を通して、異文化の発想や考え方を知り、広い視野を育成します。(第1号)</li> <li>②Reading では生徒の心情に訴えるような題材を取り上げ、豊かな情操と道徳心を培うように配慮しています。(第1号)</li> <li>③各 Lesson の Exercises B や Let's Try で、豊かな自己表現を促します。(第1号)</li> <li>④将来の目標に向かって努力をしている高校生を取り上げ、勤労を重んじる態度を養います。(第2号)</li> <li>⑤ペアやグループで取り組むコミュニケーション活動を豊富に用意し、協力し合う心を育みます。(第2号)</li> <li>⑥子供が学校に通って勉強する権利を守るために活動している女性を取り上げ、主体的な生き方を考える態度を養います。(第3号)</li> <li>⑦男性、女性をバランスよく取り上げ、男女どちらも社会に参画している姿を示しています。(第3号)</li> <li>⑧動物とのふれあいを通じて、命の大切さを考えさせる題材を取り上げています。(第4号)</li> <li>⑨自然を大切にしたり、環境の保全に心がけたりするような題材を取り上げています。(第4号)</li> <li>⑩2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を控え、我が国の伝統や文化について知り、それらを外国に向けて発信する力を養います。(第5号)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①Lesson 1 など</li> <li>②Reading 1 など</li> <li>③p.44 など</li> <li>④Lesson 5</li> <li>⑤p.35 など</li> <li>⑥Lesson 10</li> <li>⑦Lesson 2, Lesson 10 など</li> <li>⑧Lesson 5</li> <li>⑨Lesson 7</li> <li>⑩Lesson 3, 6</li> </ul>
コラム類	<ul style="list-style-type: none"> <li>①英語の基本的な文構造や発音などの学習を通して、日本語とは異なる特色に気づき、理解しようとする態度を養います。(第1号)</li> <li>②Communication コーナーでは、実際の言語の使用場面や働きを踏まえたコミュニケーション活動を行い、実生活に生かすことができます。(第2号)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①p.19 など</li> <li>②p.37 など</li> </ul>
4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色		
観点	留意点	具体例
①教育基本法の遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>①この教科書では、国際社会を生き抜く日本人を育成するために、英語力の基礎を確実に身につけ、その英語力で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養おうとすることを目指しています。</li> <li>②世界に日本のよさを発信できる生徒を育成するために、伝統や文化に関する題材を豊富に取り上げています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①全体</li> <li>②Lesson 6など</li> </ul>

<p>②学習指導要領の遵守</p>	<p>①Lessonの学習が進むに従って、生徒の積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育成されていくように、題材や学習内容が選択・配列されています。</p> <p>②生徒が自分の言葉で英語を使うコミュニケーション活動を豊富に用意することで、情報や考えなどを理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養成します。</p>	<p>①全Lesson</p> <p>②全Lesson</p>
<p>③内容・配列・分量</p>	<p>①言語材料、題材内容の各面にわたって、既習事項を新たな学習内容に関連させながらゆるやかに難易度をあげているため、無理なく英語力を養成できます。</p> <p>②各Lessonは、写真資料などからの導入、理解、演習、整理、発展の順に編集されており、効率的に学習できるように配慮されています。</p> <p>③取り上げる新出文構造・文法事項は「1レッスン1ターゲット」とポイントが絞られており、基礎・基本的事項が確実におさえられます。</p>	<p>①全Lesson</p> <p>②全Lesson</p> <p>③全Lesson</p>
<p>④評価（CAN-DO）</p>	<p>①各Lessonの第1ページLesson Goal（題材のテーマに関連した学習目標）を受けて、Let's Tryでは言語活動を通して、そのLessonにおける目標の到達度を確認することができます。</p>	<p>①全Lesson</p>
<p>⑤英語で授業を行うための配慮</p>	<p>①本文の内容把握を英問英答で行うQuestionsや本文全体の要約を完成させて音読するReading Outなど、生徒が英語でアウトプットする活動を充実させています。</p>	<p>①全Lesson</p>
<p>⑥中学校との関連</p>	<p>①基礎・基本事項を再度学習するため、Lessonの前にWarm-UpとPre-Lessonを用意しています。</p>	<p>①Warm-Up 1~3, Pre-Lesson 1~2</p>
<p>⑦伝統・文化の取り上げ方</p>	<p>①日本の伝統・文化に関する話題を取り上げ、我が国の伝統・文化への意識を高め、世界に発信できるようにしています。</p> <p>②言語を文化ととらえ、英語の基本的な文構造の学習を通して、日本語との違いに気づきを与える活動を取り扱っています。</p>	<p>①Lesson 3, Lesson 6</p> <p>②文の構造を知る 1~3</p>
<p>⑧自然科学の取り上げ方</p>	<p>①英語科にふさわしい意味のある切り口で取り上げられるよう、特殊な語彙や表現による負担に配慮して、題材選定をしています。</p>	<p>①Lesson 7</p>
<p>⑨家庭学習・自学自習への配慮</p>	<p>①辞書の使い方、接頭辞・接尾辞などが扱われています。</p>	<p>①Warm-Up 3など</p>

⑩文字・印刷・製本	<p>①活字は鮮明で美しく，写真，イラストなども鮮明です。</p> <p>②製本は堅牢で，開きやすい様式です。</p> <p>③図やグラフの色使いなど，色覚特性への配慮を含むユニバーサルデザインになっています。</p>	<p>①全体</p> <p>②全体</p> <p>③全体</p>

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-153	高等学校	外国語	コミュニケーション英語 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	コI328	All Aboard! English Communication I		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

- 英語の基礎・基本をしっかり学習できる。
- 「読みたい」「考えたい」という生徒の学習意欲を喚起する。

### 1 学習負担の少ない構成

- ・英語学習の基礎・基本の導入と学習への動機づけを図るWarm-Up 1～3とPre-Lesson 1～2を、本課Lessonの前に配置しています。Pre-Lessonでは最初につまずきやすいbe動詞と一般動詞について復習をしながら定着を図ります。
- ・各Lessonで学習する文法事項を1つにしぼっています。学習段階に応じて、平易なものから難しいものへと段階的に学習・指導できるように配列しました。
- ・ほとんどのLesson本文が見開きで完結します。学習の流れが一目で理解でき、前時の復習がしやすくなります。

### 2 指導の流れが見えやすいLesson構成

- ・先生と生徒が学習目標を共有化するために、Lessonのテーマやコミュニケーション活動にリンクした学習目標を扉ページに提示しています。
- ・Lessonの本文以降のページを、「内容理解」「文法事項」「コミュニケーション活動」の3つに整理することで、先生方の多様な指導スタイルに対応できる構成にしています。

### 3 学習意欲を喚起する題材

- ・「読みたい」「考えたい」と思うような題材を用意しています。
- ・各Lessonの仕上げに「Let's Try」を配置し、本文のテーマについてのコミュニケーション活動ができるようにしており、4技能の統合を図ることができます。

## 題材一覧

Lesson	タイトル	ジャンル	言語材料	語数
Pre-Lesson 1	My Name Is Kimura Yui.		be 動詞	36
Pre-Lesson 2	I Like Japanese Comic Books.		一般動詞	47
Lesson 1	This Is Our House	異文化理解	過去形	85
	世界の家の中から、モンゴルとアイスランドの家を紹介します。			
Lesson 2	My Favorite Hero	人物	進行形	96
	「好きな人物の紹介」で、テニスの錦織圭選手を紹介します。			
Lesson 3	Cool Culture from Japan	伝統文化	助動詞	119
	日本のマンガの翻訳版と毎年フランスで開催されるジャパン・エキスポを通じて、日本文化の世界への広がりについて考えます。			
Lesson 4	A Miracle Mirror	地理	to 不定詞	138
	「世界一の絶景」とも呼ばれるボリビアのウユニ塩原を訪れて感じたことを、メールで報告します。			
Lesson 5	Finding My Future	高校生, 職業	動名詞	155
	北海道帯広農業高等学校酪農科の生徒の活動と将来への思いを紹介します。			
Lesson 6	A Funny Picture from the Edo Period	伝統文化	受け身	156
	奇想天外な浮世絵師、歌川国芳とその作品について、高校生がスピーチをします。			
Lesson 7	Living on Ice	環境, 動物	現在完了形	156
	地球温暖化の影響で絶滅の危機に直面しているコウテイペンギンを守るために、私たちができることについて考えます。			
Lesson 8	Building Trust in Space	人物, リーダーシ ップ	it の用法	167
	国際宇宙ステーションでアジア人初の船長を務めた若田光一さんが、宇宙での生活で大切にすることを紹介します。			
Lesson 9	Pigs from across the Sea	国際協力	関係代名詞	200
	戦後、沖縄の人々とハワイに住む日系アメリカ人の絆を深めた出来事について紹介します。			
Lesson 10	I Am Malala	人物, 人権	比較表現	213
	子供が教育を受ける権利を守るために活動しているマララ・ユスフザイさんについて紹介します。			

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容						箇所	配 当 時 間
	第2款		第3款 1		第3款 2 ウ	第4款		
	(1)	(2)	使用場面	働き				
Warm-Up 1		ア					pp.8-9	1
Warm-Up 2		ア	b	a, b, c, d, e			pp.10-11	1
Warm-Up 3						2 (3)	pp.12-13	1
Pre-Lesson 1	ア・イ	ア・イ	b	c, e	(カ)		pp.14-15	2
Pre-Lesson 2	ア・イ	ア・イ	b	c, e	(カ)		pp.16-17	2
Communication 1	ウ・エ	ア	a, b	a, b, c, e			p.18	1
文の構造を知る1							p.19	1
Lesson 1	ア・イ・ ウ・エ	ア・イ	a, b	a, b, c, d, e	(カ)		pp.20-23	3
Lesson 2	ア・イ・ ウ・エ	ア・イ・ ウ	b		(カ)		pp.24-27	3
文法のまとめ1					(カ)		pp.28-29	1
<i>Let It Go</i>							p.30	1
Lesson 3	ア・イ・ ウ・エ	ア・イ・ ウ	a, b, c	a, b, c, d, e	(エ)		pp.31-36	4
Communication 2	ア・イ・ ウ	ア・イ	a, b	a, b, c, e			p.37	1
Let's Listen 1	ア	ア	a, b	a, b, c, d, e			p.38	1
Lesson 4	ア・イ・ ウ・エ	ア・イ・ ウ	a, c	a, b, c, d, e	(ア)		pp.39-44	4
Lesson 5	ア・イ・ ウ・エ	ア・イ	b	a, b, c, d, e			pp.45-50	4
Extra Target 1	ア・イ・ ウ	ア・イ	b	a, b, c, d, e			p.51	1
Eメールの書き方	エ	イ	a	a, b, c, d, e			p.52	1
Reading 1	ア・イ	ア・イ	a, b	a, b, c, d, e			pp.53-55	3
文法のまとめ2					(ア), (エ)		pp.56-57	1
文の構造を知る2							p.58	1
Lesson 6	ア・イ・ ウ・エ	ア・イ・ ウ	a, b, c	a, b, c, d, e			pp.59-64	4
Lesson 7	ア・イ・ ウ・エ	ア・イ	b, c	a, b, c, d, e	(カ)		pp.65-70	4
Lesson 8	ア・イ・	ア・イ・	b	a, b, c, d,	(オ)		pp.71-76	4

	ウ・エ	ウ		e				
文の構造を知る3							p.77	1
文法のまとめ3					(オ), (カ)		pp.78-79	1
Let's Listen 2	ア	ア	a, b	a, b, c, d, e			p.80	1
Lesson 9	ア・イ・ ウ・エ	ア・イ	b	a, b, c, d, e	(イ), (ク)		pp.81-87	5
Communication 3	ア・イ・ ウ	ア・イ	a, b	a, b, c, e			p.88	1
Lesson 10	ア・イ・ ウ・エ	ア・イ・ ウ	b	a, b, c, d, e			pp.89-95	5
接頭辞・接尾辞							p.96	1
Reading 2	ア・イ	ア・イ	a, b, c	a, b, c, d, e			pp.97-102	5
Extra Target 2	ウ	ア・イ	b	b, c, d	(キ)		p.103	1
文法のまとめ4					(イ),(ウ), (キ),(ク)		pp.104- 105	1
合計72時間								